

講演の後、懇談が行われました。両会場で出された主な意見・要望等は以下のとおりです。

～主な意見・要望等～

【印刷業】

当組合では、中央会の協力等もあって、県の印刷物の分離発注を実現させることができた。今後も自らも調査・研究等の勉強をしつつ、中央会を活用しながら、行政機関からの発注を定着させ、業界を発展させていきたい。

【電気工業業】

取得要件が厳しいので、「準」官公需適格組合の制度があれば良いと思う。また、更新時の申請書類の簡素化を求めたい。今後は、仙北市でも街路灯のLED化が始まるので、当組合としてもエントリーしたい。

【石油小売業】

現在、県・市町村等を含む51団体と随意契約を締結しており、県の発注に関しては、本庁については、随意契約となっているが、各地域振興局については、随意契約となっていないため、現在、精力的に各地域振興局を回って要望活動を行っている。

【生コンクリート製造業】

当組合では、火力発電所で燃焼させた後の石炭灰(フライアッシュ)をコンクリートに混合した生コンクリートを生産・提供しており、アスファルトより、塩害への耐性もあることから、関係機関へのPRを引き続き行っていきたい。

行政へは、安売り競争にならないよう、適正な価格設定と品質の良い建物建築が可能となるような管理の方法をお願いしたい。



【北秋田会場】

TOPICS 2 農商工商品化研究開発事業を開催

8月8日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、「農商工商品化研究開発事業」における第1回研究会を開催しました。本会では、平成23年度及び24年度において農商工連携に取り組む人材の育成と人的ネットワークの構築等を促進すべく、基本的な知識から実践的なノウハウまで習得できる「農商工連携スクール」を開催してきました。本事業は、そのスクールの中で企画されたアイデアを形にし、新商品として販売することで地域の活性化に寄与することを目的に実施するものです。

第1回研究会では、株式会社パイロットフィッシュ代表取締役社長五日市知香氏を講師に迎え、2つの試作品に対して商品化に向けた課題の抽出や改良に向けたアドバイスをいただきました。

このうち、八峰町の株式会社鈴木水産と地元のパン屋が連携して開発した「ハタハタバーガー」(仮称)の試作品に対しては、「今のサイズだとパンズが多すぎて、多くの種類を少量食べたい消費者が集まるイベントでの販売では敬遠されることが予想される。実際の販売シーンをイメージしながら、食べやすさも考えて量目を調整したらどうか。」等のアドバイスがありました。

今後は、本会会員である食品製造業組合や小売業組合との連携も図りながら試作開発、テストマーケティング等を進め、平成26年2月には完成発表会を開催する予定となっています。

【今回の試作品】

試作品①八峰町の(株)鈴木水産が地元のパン屋と連携して開発するハタハタバーガー

試作品②仙北市のランドクリエイト(株)が(株)安藤醸造の味噌を利用して開発する紅マスの加工品



【試作品①ハタハタバーガー】



【試作品②紅マスの加工品】